

や広報たしる

No. 292

昭和53年1月号

田代町企画室編集

1,600部発行



行動と躍進

あけまして

おめでとうございます

一年の計は元旦にあり。

今年は十二支でいえばうまどしである。

天かける馬のように

美しく はつらつとして

農耕馬のように

たくましく 根気よく

そして

やさしい ひとみに

すなおさを失わずに

黙々として

人のために 働きとおす

ひとつの目標に

町民こそって参加し、行動し

反省しつつ

一步一步 確実に

躍進の年でありますように。

一月の行事予定

一月三日

成人式 (田代小一時三十分)

一月四日

御用始め

一月六日

消防出初式

午前十時 田代小校庭



田代町の文化財

(その二)

田代碗(根来碗)

天正十三年(約三百八十年前)豊臣秀吉が、紀州(和歌山県那賀郡根来)にあった、真言宗新義派根来寺を攻め討ちました。その時僧徒が逃がれて田代に來ましたが、おいしい米がとれるので田代に住みつき朱碗(木製で朱ぬり)いわゆる紀州碗を作りました。

朱(塗料)は、川原の大谷山(早瀬)と麓山下の上丹土瀬戸

民生委員紹介

十二月一日づけで新しく民生委員が委嘱されました。むこう三年間お世話になります。よろしくおねがいします。

氏名

井手籠 親
福留 幸一郎
平石 健二
久保 克二
山元 砂雄
新村 フミ
有里 虎二
大園 三郎

農村振興運動

スローガン

あぜ道の声を積み上げて
豊かでぬくもりに満ちた
村づくり

聴覚障害者(耳の聞こえない方)の皆さん、補聴器の調子はいかがですか。現在身体障害者手帳をお持ちで補聴器の交付を受けている方、身体障害者手帳がなくとも耳の聞こえが悪く、これから補聴器の交付を受けたと思われる方、補聴器の調子の悪い方はぜひ検査を受けて下さい。

毎月11日(11日が日曜日、祭日の場合はその翌日)午前10時より12時まで役場議事堂で検査が行なわれます。

耳の検査日



税の相談は
電話でもOK!

<税務署>

税の相談はお気軽に

今年も贈与税や所得税の申告時期が近づいてきました。

毎年この時期になりますと、「贈与税の計算の仕方を教えてほしい」とか、「土地を売ったのだが申告はどうしたらよいのか」など、税金についての相談が多くなってきました。

このようなときは、遠慮なく最寄りの税務署又は税務相談室にお尋ねください。担当の職員や、知識、経験の豊富な相談官が御相談に応じています。お気軽にどうぞ!!

新年のあいさつ

町長

猪鹿倉 義則



町民の皆様、明けましておめでとうございます。心から新年のお祝いを申し上げます。

ます年の始めにあたり

議会議員

右田

始



昭和五十三年の新春を迎えるにあたり、町民の皆様のご多幸とご繁栄をお祈り申し上げます。五十二年は地方自治法施行三十周年の意義ある年でした。

静かに昭和五十二年をふりかえってみますと、昨年は晩霜もなく台風も上陸せず、又大雨もなく農家にとって統計的には戦後最高の豊作ではなかったかと考えられます。

緑茶を始め煙草、養蚕、水稻肉用牛等町内のおもな作物は例年に比べほとんど相当の増収になつておりますが、そのなかで依然として肉用牛、仔牛の価格が不安定といえますが、横ばいと申しますか、のびやかなでいることは残念でなりません。

保健体育部門におきましては町民の望みでありました町民運

戦後わが国は急速に国力を回復したあと、経済の高度成長をとげ国民の所得水準は向上し、地方自治体も着実な成長をとげて参りました。

この間にわが地方自治は、住民自治、団体自治の理念に基づく新制度を定着させてきました。時代は変わり、いま我が国は資源エネルギー有限時代のもと高度成長から安定成長への過程にあります。

わが田代町におきましても、猪鹿倉町長により町政が円滑に進行いたしております。私共議会といたしましても、今後一段と安定した行政サービ

動場も立派に完成し、十一月三日の町民大運動会も町内三十九小組合全部が参加して戴き、盛大に挙行できましたことは誠に感謝にたえません。

今、県下各地の運動場等で照明施設等も着々実施されておりますが、私共の中央運動場にも本年度には是非実施したいものだと考えます。そして、町民の保健体育に一層役立てたいと思ひます。

一方、県道、町道、集落道、農林道等の改良舗装事業等も国や県の補助金並びに過疎債、地債、町費等によつて着々と整

スが出来よう、町当局と一体となつて努力し、見守る覚悟であります。

地方財政問題については、経済成長の低下に伴い地方財政をめぐる諸情勢は、今後もおおしいものがあると思ひます。

本町の五十二年度財政運営は健全に運営され大きな支障はないものと思ひます。

本町においても町民希望の中央運動場も完成し、今年度中には老人福祉センターも完成いたします。又農村振興運動もはじまり話し合いによる行政も進められております。五十三年度は山村開発センターの建設も計画さ

備されつゝありますことは皆様ご承知のとおりであります。

新しい事業の一つとして、広域債並びに交付税による肝属消防組合(一市九ヶ町)が昨年四月一日発足し、私共南陽四ヶ町には大根占町に南部署が設置され、佐多町には佐多分署が設置されて、それぞれ南陽地区の急救業務に従事していることはご承知のことですが、更に将来は消防タンク車等も購入して地域消防団と共に消防活動等にもあたることになります。

又、町内高令者の方々の念願でありました老人福祉センター

れています。

最近住民の自治意識の向上により、私共議会に対する期待や要求も高まっております、それだけに議員の責務も極めて大きくなつています。

これにこたへるため研鑽をかさね社会状況の変化を的確に把握し、これに対応した、行政を推進させなければならぬと考えております。

田代町がすべての面において平和で明るく、更に前進する年となりますよう、祈念いたします。昭和五十三年の年頭のあいさつといたします。

大原剣道スポーツ少年団

育成会結成される

去る十二月七日、かねてから望まれていた大原剣道スポーツ少年(少女)団の育成会が結成されました。

育成会の目的

一、団員の心身の鍛練と不良化防止をはかるためのはげましとねがらい。

二、団員の練習意欲をよりあげ技術の向上をはかるためのはげましとねがらい。

三、団員の練習効果をあげるために必要な施設用具の充実。会の特性は、

小学生から中学生一般にいたるまで、一貫性のある育成会であることです。

役員は次の通り。

会長 山元 利夫
副会長 川前 俊郎
書記・会計 平岡 末男
理事 山元 須直 大浦地悦郎
平岡 末男 石原ユリ子
監事 大原 護 山下 文一
顧問 町田 親民 新村 進
安楽 和行 大浦地光徳
川前 正郎 有里 正心
大園 三郎



も目下桑原組等の手によつて役場庁舎南側に建設中であり、三月末には立派に完成し、皆様方の憩いの場になれば幸いです。

昨年も少しふれましたが、山村開発センター(公民館)もいよいよ本年から来年にかけて建設の予定で、委員会等で県内の公民館等研修視察して設計の参考にいたしております。

又、鎌田県政の新しい施策として農村振興運動すなわち、あぜみちの声をきく運動も始まり本町でも昨年十月始め事務局を設置し役場職員総力をあげてこの運動にとりくんでおり、すでに第一回目の座談会もすんでいくと思ひますが、今後またびたが会合を重ね皆様のご意見をきき、それをもとに私がいつも申しあげております明るく、豊かな田代町の建設に一層努力を続けたいと考えます。

最後に町民皆様方の絶大なるご支援とご協力をお願いし、あわせてご多幸を祈念し新年のご挨拶といたします。

「新年の抱負」
一年 牧原宏明
昨年四月、ばくら一年生は新しい希望にもえて中学校の門をくぐった。あこがれの中学生、その喜びとあのういいういしい心で何かを期待しながら登校した毎日。だが、今ではすっかり慣れきった感じであの新鮮な気持ちもほとんど陰をひそめてしまったようである。
二期も終え、新年を迎えるにあたり、なにか希望に満ちあふれた心がふたたびよみがえってくるような気がする。ばくら一年生にとっては、もちろん二年生に進級するという喜びもある。進級すると、生徒会活動部活動などでも二年生が中心になる。いつまでも一年生のままの甘えた気持ちでは学校全体に影響する。このことを、ばくらは強く自覚したい。
けれども、まだ三期も残っている。学校に学ぶばかりのしめくくりの学期でもある。一年間の学習、生活面の反省と新年への準備とたいへんである。「一年の計は、元旦にあり。」現在の新年への抱負は、年明

けに昨年末の反省をもとに、じっくりと考え、それについての計画をたててみたい。ばくは中学生なので、やはり「毎日の予習、復習の徹底」「生徒会活動、部活動などに積極的に取り組む」この二つにしろられるようである。ふたたびこない一九七八年を悔いを残すことなく、せいっぱいがんばってすごしてみたいという気持ちでいっぱいである。
進路指導雑感
ことし春三月、三年生八十二名が本校を卒業する予定であるが、就職、進学いずれの道を選ぶにしても、かつての高度成長期時代の夢ふくらむような時代とちがって、きびしい状態の中での進路の選択を迫られている。中学校では一年から三年まで各学級で進路指導を実施しているわけであるが、その基本理念は、「生徒の個人資料、進路情報、啓発の経験及び相談を通じて、生徒みずから将来の進路の選択、計画をし、就職または進学して、さらにその後の生活によりよく適応し、進歩する能力を伸長するように、教師が組織的、継続的に指導、助言する過

程。」となっている。
この理念をもとにして、学校では広い視野から進路指導を実施しているのであるが、卒業式を三月に控えて、現実には矛盾するいくつかの問題が大きく横たわっている。
そこで、今回は「就職」と「進学」の両面に分けて問題を考え、学校はもちろん、御家庭におかれても、子弟の進路の選択をされるとき参考にしていただきたいと思う。
なお、「就職指導」については、昨年十一月二十八日、本校でおこなわれた「就職相談」のとき来校された鹿屋職業安定所の課長さんから肝付地区の実態として直接聞かされた話をまとめたものであり、「進学指導」については本校職員でかねて話し合っていることである。
就職指導について
就職相談に職安から学校に行き、生徒、保護者、担任をまじえて相談するときに百パーセント近くが就職する会社を決めているが、これはいったいどうしたことなのか、理解に苦しむ。これではせっかく学校で進路指導をやってもその甲斐はない。職業の選択は「自己理解」の

上になつて、自分に合った職業を決め、どこでその仕事をしたらいいかを考えねばいけない。不正な求人活動によって自己理解もしないまま決めてしまう例は非常に多い。就職とは職につくことで会社に行くことではない。その仕事が自分にあうかどうかということの基本にして考えるべきである。
また、これからの不況を考えたら、資格とか免許、特技などを身につけておくことがたいせつである。最近の企業はそういう人を求めている。賃金は人に支払われるのではなく、その人の特技とか、経験に対して支払われるのである。時代の流れを考えると、ばんやり県外に出るというのでなく、将来へのはつきりした見通しをたてる必要がある。だから同じ職場に定着しない人が多くなる。
就職についての親の助言は正しいものでなければならぬ。子どもを無視してはいけない。「お前はこんな面にすぐれているから、こんな職業に向く。」いわゆる子ども側の側からも適材適所主義でのぞむべきである。終わりに「親は子どもの職業選択の自由を奪ってはならない」

進学指導について
大学卒のきびしい就職難という事態を見聞しながら、今年もまた、高校入学生選抜入試要項が発表された。
「自分は将来何になりたいからあの高校に進もう。」と少年時代からの夢をみごとにみらせる人もいるが、大部分が高校を卒業するまぎわになって大学を選び、大学を出ても希望するところへの就職ができない時代である。
ことしは、肝付地区の中学生が昨年より四百名減で地区の高校の学級減が憂慮されている状態である。
就職とおなじく「本人の能力、性格、趣味」等をよく考えて受験校を決めてもらいたい。親や本人の見栄、友達がいからというのでなく、自分のことをよく考えて選ばれるようにしてもらいたい。わが田代町にも田代分校がある。もういちど見直してみたいもの。特別な人をしていて、高校までは自分の家から通学させたいというのが多くの父兄の願いでもある。
あと二か月、まだ受験生にのつての試験は続く、寒さにまげず、栄冠をめざしてがんばってほしいし、家族ぐるみの激励もおねがしたい。

季節の話題

初夢

元旦の夜から二日朝にかけて見る夢が初夢。昔は娯楽の種類も少なく、形式を重んずる時代でしたから、いろいろな伝えや習慣がそれぞれの家に伝わっていて、しつとりと根づいていたものです。正月の初夢などはどこの家でも二日の朝の話題になりました。江戸の時代には良い夢を見るためにまくらの下に入れて眠る宝船の絵が売り歩かれたといいますが、その頃は社会的な「行事」だったので。初夢にはどんな夢を見たらいのか、一般にいわれているのは一富士、二鷹、三茄子があります。この由来諸説があるので、その一つは徳川家康がまだ駿府（静岡市）の城にいた頃ある日三保に遊びに行ったのです。その時は四月だというのにもうナスが実っていたので、これは珍しいから買って帰ろうと思いついた。高いのでびっくりしました。そこで家康は「駿府で高いものは富士山と愛鷹山だけかと思っ



いたが、茄子も高いものだ」といったのがはじまりだということです。今でこそ真冬にナスがあっても不思議ではありませんがハウス園芸技術のない昔、四月にナスが実っているというのはいかに気候温暖な三保地方ならではの話しです。
もっと一般的な話としては富士山は富士山のうえ、日本で一番高い山だし、鷹はたいへん強い鳥でめつたに負けない、茄子は、「成す」に通ずるから三つともめでたいものばかり、それを初夢に見ることはたいへんに縁起がいいという話です。
何となくこじつけてはありますが、こういう話はあまりせんさくすると、それこそ夢がなくなってしまう。

町民のうき
町成人式
1月3日
午後一時
田代小体育館
人口のうき
12月1日現在
基本台帳人口 推計人口
男 2,338 2,171
女 2,573 2,479
計 4,911 4,650
世帯数 1,506 1,461
下の表は、田代が町になった三十六年と、四十三年以降十年間の、住民基本台帳による人口動態です。

	項目		年	36年	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52(11月迄)
	住民基本台帳人口				6,311	5,971	5,652	5,433	5,447	5,393	5,269	5,167	5,051	4,911
	人口増減			△59	△245	△281	△319	△219	△265	△54	△124	△102	△116	△140
自然増減	出生	男	87	54	37	35	31	20	31	20	22	21	25	
		女	84	38	34	31	31	23	35	17	20	23	14	
		計	171	92	71	66	62	43	66	37	42	44	39	
	死亡	男	36	28	31	28	29	24	27	32	26	33	21	
		女	29	20	21	32	25	21	20	20	31	31	33	
		計	65	48	52	60	54	45	47	52	57	64	54	
社会増減	転入	男	103	96	139	122	143	127	153	124	133	113	111	
		女	110	118	121	141	141	153	175	159	149	133	120	
		計	213	214	254	263	284	280	328	283	282	246	231	
	転出	男	203	249	275	301	253	270	186	175	180	156	167	
		女	175	254	279	287	258	273	215	217	189	186	189	
		計	378	503	554	588	511	543	401	392	369	342	356	

グループ紹介 その1

ひまわりグループ

ひまわりグループ(会長 小園トシ)は、会員二十四名で、昭和四十四年に中央公衆便所の清そうを自発的にはじめ、昭和四十五年一月にグループが結成されました。毎日の清そうのたびに当番簿がグルグルと会員から会員へとまわるので、「ひまわりグルグル」と名をつけたそうです。



グループ結成以来八年、ボランティア活動はすばらしく、また、会員研修や創作活動もするようになり、田代町文化協会結成とともに加入しています。

この八年間のすばらしい活動に三回も表彰をうけています。

（昭和四十七年十一月二十三日
田代町振興大会、昭和五十年二
月十四日、肝属郡教育振興大会
昭和五十一年十一月二十五日
小さな親切運動）

去る十一月二十日（日）第三回肝属地区芸術祭において「田植えハンヤ節」の寸劇（自作自

圖書紹介

公民館図書に「大西郷全集」加わる

昨年昭和五十二年は、西郷隆盛没後百年（一八七七年西南の役に敗れ、城山で戦死）、生誕百五十年の記念の年に当たりました。明治維新の達成に欠くことのできなかった傑人であり、偉大な人格を常に敬仰される一方、封建の武人、大陸侵略論者と評せられている大西郷。この大西郷に関した文書を載録した全三巻並びに遺墨集が、公民館図書に加わりました。

第一卷（安政元年八月二日）
慶応三年八月四日まで
の十三年間の文書）

第二卷（慶応三年八月十六日
明治十年九月二十四
日隆盛の死に至るまで
十ヶ年間の文書）

演)を発表。郷土のにおい、ふるさとの味のにじみでた寸劇に会場内は大喝采。

なお、十二月九日(金)MB
C放送で、午前十一時より十五
分間。鹿屋市文化会館より生放
送されました。

活動に情熱を燃やしているグループのみなさんの今後のご活躍を期待します。

大原地区
民踊教室

第三卷（年譜、伝記等）
遺墨集（「敬天愛人」他）
公民館図書室で大西郷文書に
接してみませんか。
他にも数多くの図書があります。
大いに御利用ください。

六月より町民講座として、大原地区民踊教室を開講して、月に一回、夜間に大原小学校体育館にて民踊教室をひらいていきます。

学級生四十名（学級長 新村
フミ）、講師の北タキ先生の指
導に毎回熱心な学習をしていま
す。

婦人學級開講

婦人の教養を高めるために、
婦人学級を開講しました。
学級生五十名（学級長 中島
チリ子）。熱心な学習ぶりに頭
がさがります。



教育委員会の

主な行事予定

3・25	3・23	3・22	3・18	3・15	3・10	3・5	3・1	2・27	2・22	2・21	2・20	2・19	2・10	2・9	2・1	1・27	1・20	1・19	1・13	1・10	1・9	1・3
小中学校終業式	小学校卒業式	生徒指導主任会	中学校卒業式	町文化協会の理事会	教育委員会	子ども会リーダー研修会	町内小中教頭会	一般成人バレー大会	教育広報編集委員会	社会教育委員会	第一回田代町文化祭	大会（花瀬地区）	オリエンテーリング教育委員会	体育指導委員会	町内小中学校長会	町文化祭実行委員会	町内小中教頭会	南部地区ライブラリー田代分室運営委員	町内小中学校長会	教育委員会	町内小中学校始業式	成人式